

乳幼児突然死症候群 (SIDS) 対策強化月間に寄せて

沖縄県立中部病院 新生児内科 中司 暉人



乳幼児突然死症候群 (SIDS) とは、これまでの健康状態及び既往歴から死亡の予測ができず、しかも死亡状況調査及び解剖検査で死亡原因が特定されない、1歳未満の突然死と定義されている。発生頻度は、出生 6,000～7,000 に対して 1 例の頻度で、多くは生後 2 ヶ月～6 ヶ月に発症する。¹⁾ 今では SIDS に限らず、乳児の予期しない死亡のことを Sudden Unexpected Infant Death (SUID) と言い、SIDS は SUID の約半数に当たると言われている。それらは乳児の睡眠に関連することから、米小児科学会 (American Academy of Pediatrician) では、安全な乳児の睡眠に対する提言 (Safe to Sleep[®] campain 参照) なども公表されている。安全な睡眠を確保することは、SUID や SIDS のリスクを軽減する重要なポイントと言える。

SIDS の機序ははっきりと解明されていないが、睡眠中の周期性呼吸による血中酸素濃度の低下や二酸化炭素濃度の上昇に対し、何らかの原因による呼吸中枢の微細な異常で覚醒反応が遅延し、さらに高度な低酸素血症が生じて呼吸中枢が抑制されることが病態ではないかと言われている。²⁾ 両親の喫煙や早産、もしくは低出生体重での出生などは呼吸中枢に何らかの影響を及ぼす要因といえる。

当院総合周産期母子医療センター新生児内科の取り組みとしては、SIDS のリスクが高いとされる早産時や低出生体重児の退院時には、両親へ SIDS とその予防に関する情報提供を行っている。さらに、喫煙されている両親や他の同居家族より希望があれば、禁煙外来へ案内を行っているが、現在はチャンピックス[®] の供給停止に伴い外来を中止している。また、NICU

に入院した早産児など以外にも、自宅の養育環境の問題や眠剤を内服している両親など SUID のリスクが高い家庭であれば、退院後も新生児内科医の外来を通じて適宜指導介入などを行っている。

乳児の予期せぬ死亡を減らすためには、「うつぶせ寝をさせない」「禁煙の指導を行う」「母乳栄養を推奨し、母乳栄養を続けられる環境づくりの指導をする」以外に、乳児の睡眠の安全性を阻害する恐れのあるものに対し指導、介入することも重要である。向き癖のある乳児に乳児用の枕を使っている家庭があるが、枕などの柔らかいものや厚いものは、首座りや寝返りができない乳児にとっては窒息の恐れがあるので中止させる。両親や兄弟、ペットと同じベッドで眠ることは、予期せず乳児の気道を塞ぐ恐れがあり、原則としては両親と同室で乳児のみが使用するベッドを確保する必要がある。ベッド上にもぬいぐるみやおもちゃ、マットなど柔らかいものを置かないようにさせる。寝返りが始まった乳児には、おくるみによる窒息や頸部絞扼などの危険があり、使用を控えるように指導する。汗腺が発達していない乳児にとって、温めすぎること容易に体温が急上昇する。睡眠時に毛布のかけすぎや着重ねのしすぎは高体温となり、SIDS のリスクを高めることを説明し体温管理に対する指導を行う必要がある。^{2) 3)}

SIDS の普及と指導の効果により、SIDS で亡くなる乳児の件数は平成初期と比べると減少しているが、ここ数年その減少傾向に歯止めがかかってきており (図 1)⁴⁾、SIUD と合わせると年間 100 名以上の乳児が不幸にも予期せぬ死亡を起こしている。乳児の睡眠中に降りか

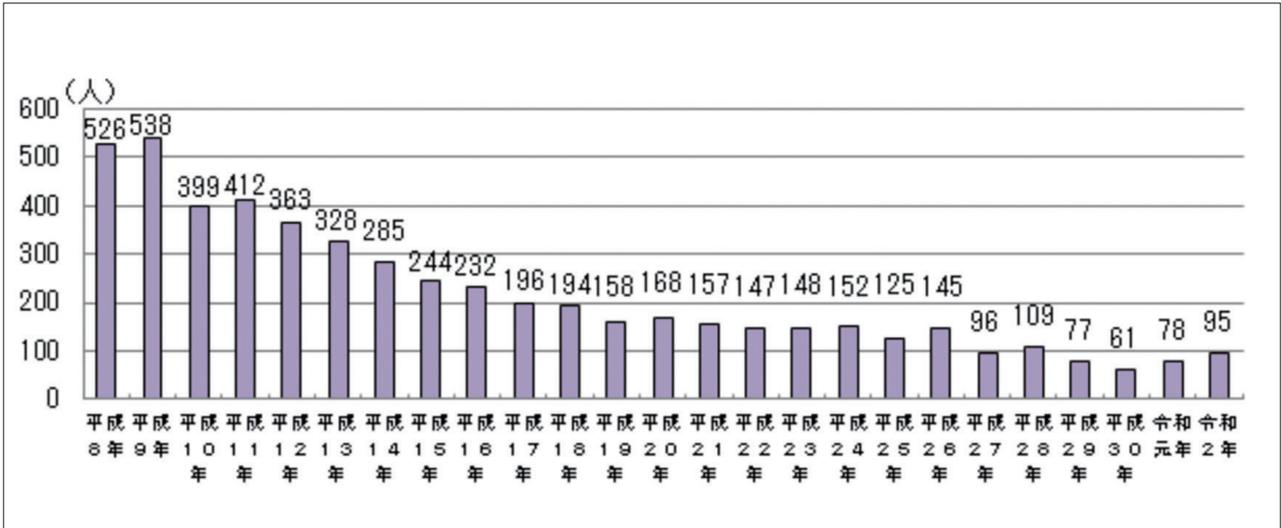


図1：乳幼児突然死症候群の死亡者と年次推移⁴⁾

かる危険は日常生活の身近な所にある。多くは、両親や保護者が知らずと行っていることが多いような印象もある（頭部の形を気にして枕を使用、着重ねやおくるみなどで高体温など）。そのため、一般的な育児指導をするように、分娩施設や検診会場で安全な睡眠に関する知識を正確に普及し、また検診においては睡眠についての問診も充実させていく必要がある。小児科医に関わらず、乳児の医療や保健に従事する方々には、英文であるがぜひ Safe to Sleep[®] campaign (<https://safetosleep.nichd.nih.gov>)

のホームページを閲覧していただきたい。今後、予期せず亡くなる乳児や悲しみにくれる家族が一人でも減ってくれることを願う。

- 1) 厚生労働省 SIDS 研究班 . 乳幼児突然死症候群 (SIDS) 診療ガイドライン第 2 版 . 2012 年
- 2) 仁志田博司 高橋尚人 豊島勝昭 : 新生児学入門 第 5 版 . 医学書店 . 2018 年 .p406-411
- 3) AAP safe to sleep. 最終閲覧日 :2022 年 7 月 26 日 <https://safetosleep.nichd.nih.gov>
- 4) 厚生労働省 HP. 最終閲覧 2022 年 8 月 1 日 . https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000181942_00003.html

